



森田チームが優勝、九州大会へ

■5月26日に開催された、県消防救助技術指導会で、本市消防本部の森田チームがロープブリッジ救出の部で1位になりました。同チームは県代表として沖縄県で開催される九州大会に臨みます。



水源地等の 清掃作業を実施

■6月1日から7日までの水道週間期間中に、より安全で良質な水道水を安定して供給するため、水道工事協会と水道課が1日に深浦水源地と金山浄水場取水口付近の清掃作業を行いました。



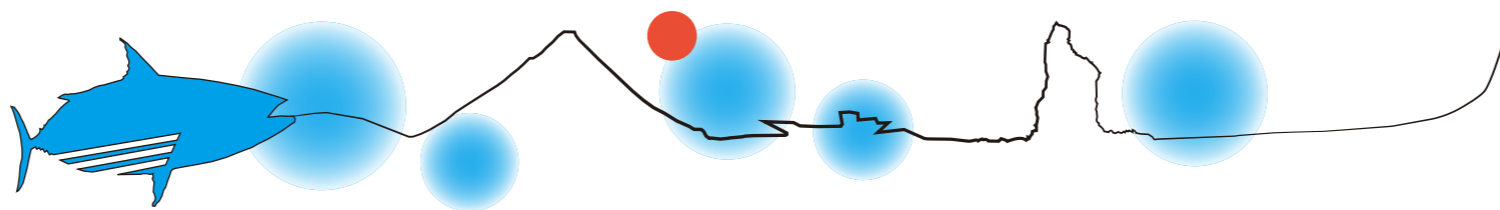
わくわく人権ルーム

■6月14日、立神海の風こども園で開催されました。園児たちは、人権に関するDVDで、やさしい気持ちを持つことの大切さを学んだ後、人権イメージキャラクターの人KENまもるくんと人KENあゆみちゃんとふれあいました。



ぶえん鯉スタンプラリー抽選会

■6月27日、水産センターで行われました。今回で10回目を迎え、北海道から九州まで全国各地の人たちが参加しました。応募総数は1,921件でした。



枕崎の基幹産業を学ぶ ～桜山小学校・別府小学校社会科実習授業～

6月15日、桜山小学校と別府小学校の5年生の社会科実習授業が水産センターなどで行われました。

この授業は、小学5年生の教科書に「枕崎のかつお漁業や水産業」の記述があることから、本市の基幹産業であるかつお漁業への理解をもっと深めてもらおうと枕崎市漁業協同組合の職員が講師となり行われています。

児童たちは、枕崎漁港での水揚げや遠洋かつお一本釣り業について学んだ後、冷凍かつおが保存されている冷凍庫の見学をしました。授業後の昼食では、漁協職員が準備したかつおのタタキと腹皮の唐揚げをおいしそうに食べていました。

山口心愛さん(別府小5年)は「かつおの歴史を知ることができて、もっと知りたいと思いました。かつおのタタキがとてもおいしかったです」と話してくれました。



▲浜田さんの作品

浜田さんが日本部門賞を受賞 ～ソニー ワールドフォトグラフィアワード2017～

ソニーが支援する世界最大規模の写真コンテスト「ソニーワールドフォトグラフィアワード2017」で、浜田さん(45)の作品「このとりの軌跡」が日本部門賞で1位を獲得しました。

浜田さんは「このような世界最大規模のコンテストで賞を獲得ことができ、感激しています。この写真はロケット打ち上げの軌跡を撮影したのですが、そのようすの美しさを世界に発信することができたと思います。これからも鹿児島島の風景を撮り続けて、鹿児島の良さを多くの人に伝えていきたいです」と話していました。

小学生力士の好取組に大声援

～第27回黒潮すもう大会～

黒潮すもう大会が6月10日、駒場公園相撲場で行われ、市内各小学校から3年生以上の代表児童141人が参加しました。子どもたちは相撲教室で学んだ礼儀作法で堂々と土俵に登場し、熱戦を展開。好取組の連続に、観客席からは大歓声が巻き起こっていました。

団体戦優勝の枕崎小学校には、本市出身で大相撲立行司第36代木村庄之助の山崎敏廣さんが寄贈した軍配のレプリカと直筆の盾が贈られました。

各部門での優勝は次のとおりです(敬省略)。

【団体】枕崎小学校 【個人】3年男子=近森絃(別府小)、3年女子=松崎京音(枕崎小)、4年男子=大塚遥斗(立神小)、4年女子=依積田くるみ(別府小)、5年男子=台場晴仁(立神小)、5年女子=大園陽菜美(桜山小)、6年男子=森田心緑(別府小)、6年女子=谷村美咲姫(枕崎小)



第20回目東京・渋谷で鹿児島おはら祭り

～投稿者: 関東枕崎会広報担当 白澤武彦さん

投稿

恒例の渋谷・鹿児島おはら祭りが5月21日、東京・渋谷の中心街・道玄坂109を中心に開催されました。

今回が20回目。真夏を思わせる暑さの中、約2,500名の踊り手が「ヨイヤサー」、「ラブラブ渋谷」の掛け声とともに、おはら節・渋谷音頭などを踊って渋谷の街を鹿児島一色に染めました。関東枕崎会おどり連では今回も43名が参加し、今年は新たに大きなかつおのぼりを用意し、鯉節の町「枕崎」を大いにPRしました。沿道の皆さんに「枕崎頑張れ」の声援をいただき、励まされました。踊り手は全員一丸となり溢れんばかりの笑顔で元気いっぱい楽しく踊りました。沿道で応援してくださった皆さまありがとうございました。来年は枕崎からの参加をお待ちしています。



ほっとホット
フォトニュース



薩摩青雲丸が帰港、県知事からもエール ～鹿児島水産高校実習船「薩摩青雲丸」帰港式～

4月26日に枕崎港を出港した、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」が6月20日に帰港し、同日帰港式が枕崎漁港内港で行われました。

式には、三反園訓鹿児島県知事も出席し「この航海を通じて未来へ向けて一歩でも二歩でも近づく何かをつかんで、帰ってきていただきたいと思います」と激励の言葉を実習生に送りました。

薩摩青雲丸は6月21日に再び出港し、6月29日には本市と友好都市である稚内市の稚内港に入港。船の一般公開や稚内高校との意見交換会等を行いました。



100歳おめでとうございます ～寺前美佐子さん(宮田町)～

寺前美佐子さんが6月21日、めでたく100歳の誕生日を迎え、同日、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

寺前さんは台湾で生まれ育ち、終戦後に枕崎に嫁ぎました。料理が上手で家族にもとても喜ばれていたそうです。

長寿の秘訣は「自分の事は自分でやる」という強さを持って過ごしてきたこと」と話します。

これからも元気で長生きしてください。